

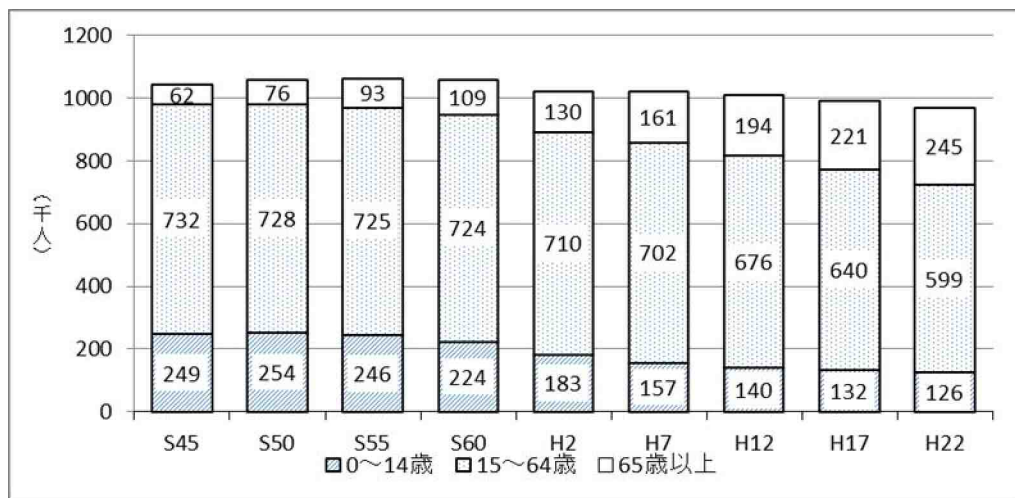
第2 現状と課題

1 高齢化の進行

(1) 高齢化率の上昇

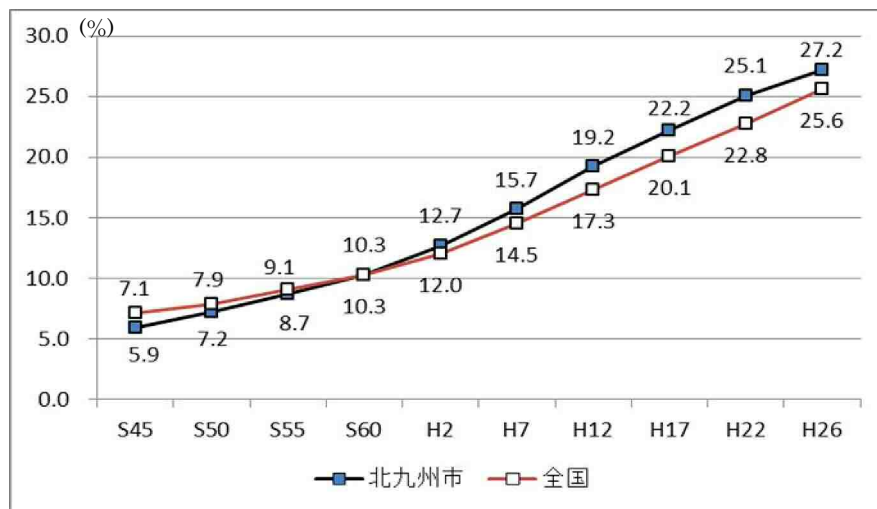
本市の高齢化率（総人口に占める65歳以上の人口の割合）は、平成26年3月31日現在で27.2%と、人口の約3.7人に1人が高齢者という状況であり、政令指定都市の中で最も高くなっています。

【 図2-1-1 本市の年齢三区分の推移 】



【出典】 総務省「国勢調査」（平成22年）

【 図2-1-2 本市と全国の高齢化率の推移 】



【出典】 昭和45年から平成22年までは 総務省「国勢調査」（平成22年）
平成26年の北九州市は住民基本台帳（3月31日現在）、全国は総務省人口推計（4月1日現在概算値）

【 表2-1-3 高齢者数及び高齢化率の政令指定都市比較 】

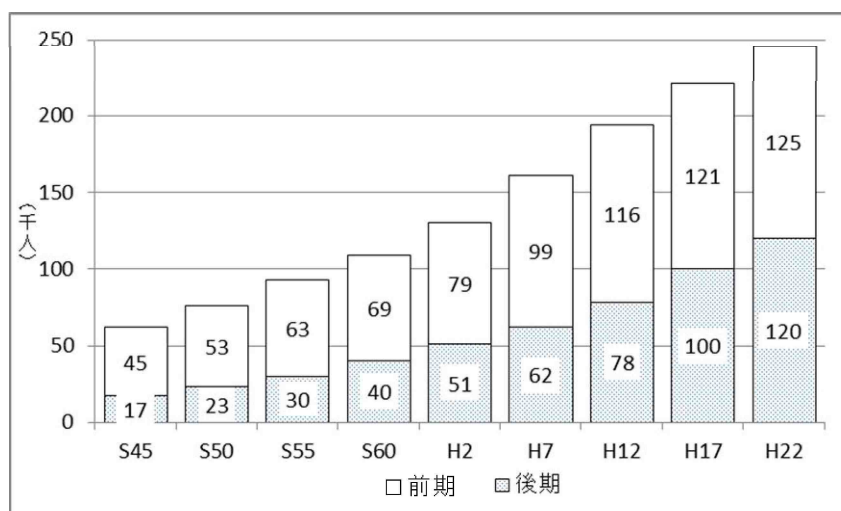
	高齢化率 (H26.1.1)	高齢者数 (人)	総人口 (人)
全国	24.7	31,720,621	128,438,348
福岡県	23.8	1,216,964	5,118,813
北九州市	26.8	263,131	981,891
札幌市	22.7	438,592	1,930,496
仙台市	20.4	213,774	1,049,578
さいたま市	20.8	261,208	1,253,582
千葉市	22.8	218,456	960,051
横浜市	21.9	812,237	3,714,200
川崎市	18.2	261,385	1,433,765
相模原市	21.8	155,751	713,351
新潟市	25.2	202,862	806,525
静岡市	26.6	190,864	718,774
浜松市	24.2	196,943	812,286
名古屋市	22.9	515,536	2,254,891
京都市	25.4	360,621	1,420,719
大阪市	23.9	637,482	2,667,830
堺市	24.8	210,355	849,107
神戸市	24.8	385,362	1,553,789
岡山市	23.4	165,182	704,572
広島市	22.0	260,703	1,186,928
福岡市	19.0	279,704	1,474,326
熊本市	22.6	165,817	734,287

【出典】 総務省による調査

(2) 75歳以上の高齢者（後期高齢者）の増加

本市の高齢者に占める75歳以上の人の割合は、昭和45年当時は3割に満たない状況でしたが、平成22年には半数近くに達しています。

【 図2-1-4 本市の前期高齢者及び後期高齢者の推移 】



【出典】 総務省「国勢調査」(平成22年)

(3) 平均寿命の推移

本市の平均寿命は男性78.85歳、女性86.20歳に達し、昭和45年当時と比べると、およそ10年延伸しています。

【 図2-1-5 平均寿命の推移 】

(単位：年)

年次	北九州市		全国	
	男性	女性	男性	女性
昭和40年 (1965)	—	—	67.74	72.92
昭和45年 (1970)	69.24	75.08	69.84	75.23
昭和50年 (1975)	70.95	76.94	71.79	77.01
昭和55年 (1980)	72.70	78.84	73.57	79.00
昭和60年 (1985)	73.94	80.66	74.95	80.75
平成2年 (1990)	74.73	81.91	76.04	82.07
平成7年 (1995)	75.82	83.04	76.70	83.22
平成12年 (2000)	77.00	84.21	77.71	84.62
平成17年 (2005)	77.81	85.55	78.79	85.75
平成22年 (2010)	78.85	86.20	79.59	86.35

【出典】厚生労働省「平成22年都道府県別生命表」

(4) 健康寿命

本市の健康寿命は男性68.46歳、女性72.20歳で、平均寿命と比較すると、男性が約10年、女性が約14年の開きがあり、この期間は日常生活に何らかの制限がある状態ということになります。

※ 健康寿命＝健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間
(厚生労働省「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本方針」)

【 図2-1-6 健康寿命と平均寿命 】

(単位：年)

	北九州市		全国	
	男	女	男	女
平均寿命	78.85	86.20	79.59	86.35
日常生活に制限のある期間の平均	10.39	14.00	9.17	12.73
健康寿命 (日常生活に制限のない期間の平均)	68.46	72.20	70.42	73.62

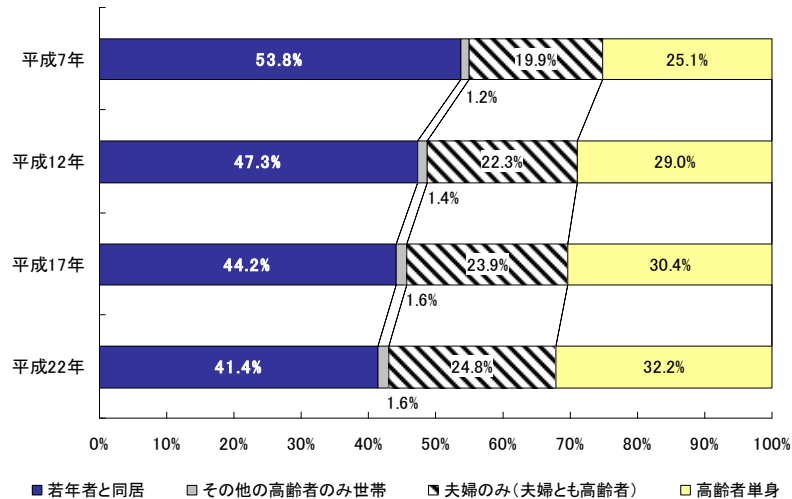
【出典】平均寿命は厚生労働省「平成22年都道府県別生命表」

健康寿命は国民生活基礎調査に基づき厚生労働省が算出

(5) 高齢者のみの世帯の増加

平成12年以降、65歳以上の高齢者のいる世帯のうち、5割以上の世帯が高齢者のみで生活しており、高齢者の単身世帯も増加しています。

【 図2-1-7 高齢者のいる世帯の家族類型別世帯の割合の推移 】

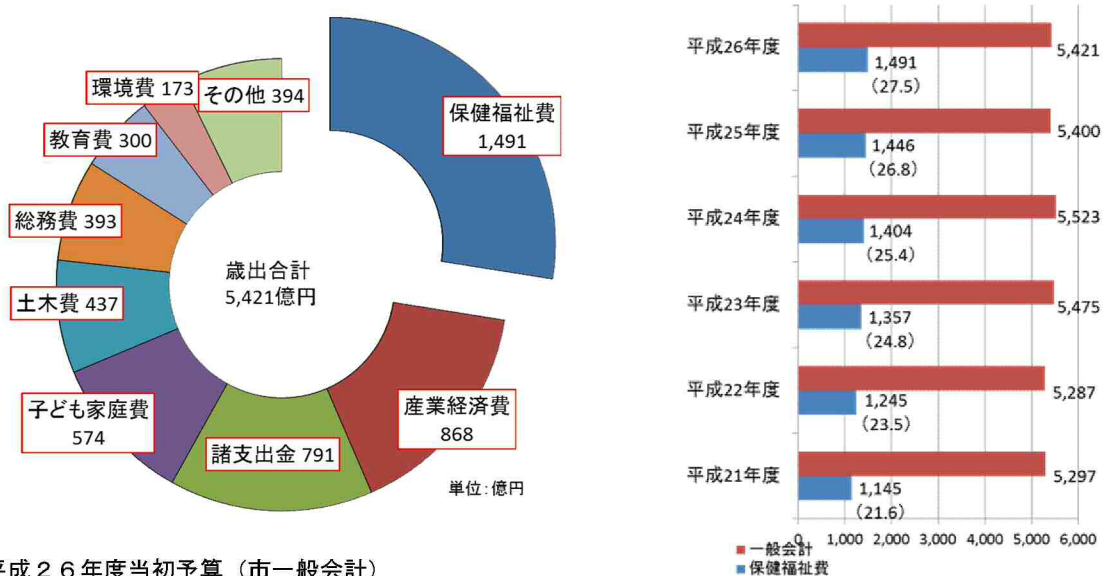


【出典】総務省「国勢調査」(平成22年)

(6) 保健福祉費の上昇

本市の保健福祉費は一般会計の4分の1を超える水準にあります。本市は市税など自主的に収入できる財源が少なく、地方交付税など国からの収入等に依存する脆弱な財政基盤に加えて、今後も高齢化の進行等による保健福祉費の伸びが見込まれるなど、本市財政を取り巻く状況は更に厳しさを増すことが予想されます。

【 図2-1-8 市一般会計に占める保健福祉費の割合 】



平成26年度当初予算(市一般会計)